

## 上殿小学校統合に関する保護者説明会要旨

## 第1回目 令和3年6月22日(上殿小学校保護者)

説明者：教育長・教育委員会事務局職員

## 1 これまでの学校統合の経緯説明

- 平成25年計画時の基本計画についての説明
- 子どもの教育環境整えるためにも早急に進めないといけない
- 特に上殿小学校については移転対象校となるため、早急に取り組まないといけない。

## 2 校舎の耐震調査結果について

- 校舎については倒壊する危険性は低い、体育館については、倒壊の危険性があるとの判定結果の説明

## 3 意見交換の概要

計画策定後時間が経過している。新たな計画必要なのでは

- 皆さんの意見も聞かせていただく中で、計画の修正を早急に検討したい  
これまで地域は定住の取り組みをしている。その中で町のビジョンが見えない
- ビジョンについては、長期総合計画や将来の人口考える中で、教育委員会だけでなく適正配置(統合)とは別にとりかからないといけないこと  
統合先はどこになるのか
- 皆さんの意見も聞かせていただく中で、個々では決めづらい部分もある  
と思われ、最終的には教育委員会で判断して提案したい。  
いつまでに統合したいのか
- 新年度から統合がベストと考えており、ご理解ご支援をお願いしたい。  
次回教育委員会の方針案について説明

## 第2回目 令和3年7月28日(上殿小学校・就学目児童保護者合同)

説明者：町長・教育長・教育委員・教育委員会事務局職員

## 1. 適正配置(学校統合)等について保護者説明

適正配置基本方針の一部修正について

当初基本方針案の上殿は筒賀小学校との統合について変更し、上殿小学校と戸河内小学校を統合対象学区とし、現戸河内小学校を使用することとする。

統合時期については、令和4年4月1日を目途とし、準備協議を進めるものとする。

## 2. 意見交換内容概要

今回計画を変えたということだが、計画自体がずさんなのではないか  
学校がなくなることで地域が衰退する。町長が言う定住や人口維持策を  
この方針に入れるべきでは。

- 町長の施策として定住対策、人口維持のための施策は実施していく。方  
針案は、現状の小学生、見込は0歳以上の子ども的人数から児童数を出  
し方針案をまとめたもの。
- 定住、人口の施策は大事だが、教育委員会としてはいまの子どもの教育  
をどうしていくかが大事なこととして方針を決めた。

早く統合の方針を出し進めてほしい。

統合先、時機について少し考えたい。

保護者の思いを聞くことを含め持ち帰って検討し、早い時期に次の会を行う  
こととする

## 第3回目 令和3年8月11日(上殿小学校・就学目児童保護者合同)

説明者：町長・教育長・教育委員・教育委員会事務局職員

### 1. 聞かせてもらった保護者の思いの説明

しっかりした計画、将来のビジョンが見えないとの意見もあるが、個別  
に聞かせていただいた意見では8～9割が統合案に賛意をいただいた。  
そのうち6割以上は積極的に進めてほしいとのこと。そのほか少数だが  
筒賀か戸河内か決めかねているとの意見、また通学の件及び上殿小の先  
生誰もいないと不安あるなどの意見

### 2. 意見交換の概要

- 適正配置後の小学校3校、中学校2校は維持していきたい(町長の思い)  
総合教育会議での議論の場でその考えをしっかり話をしたい。  
前回の話で上殿小の状況心痛めたとあるが、これまで放置だったのかと  
いう思いがあった。8割の方が賛成ということなので、対立するのでも  
なく同じ方向に進んでほしい。  
一人一人の意見聞いたとのことだが、見えない形。アンケート等必要な  
のではという意見あった。
- アンケートの結果により決定するのではなく、教育委員会の提案した教育  
環境を整えるための案について、説明会の場では言いにくいということ  
もあり、率直にどう思われるかということをも個別で聞かせていただいた。  
率直な意見を聞くためには、紙でとらないほうが良いと考えた。  
基本的な統合については、8割賛成、6から7割は積極的な賛成をいた  
だいた。

- 統合の細かな点については、統合準備委員会で保護者の代表、学校の教員、地域代表の方も入る中細かなこと、新学校の運営などについて決めていきたい。  
たくさんのごことを統合準備委員会で決めていく中で、4月までに間に合わすとのことだが、コロナのこともあるし集まらない状況になるとどうするのか。
- 準備委員会の段階で、コロナのこともあるが、いろんな手を考えながら皆さんの意見を反映できる方法を、教育委員会事務局職員で委員になっていただいた方に個別に聞くなどの工夫をしながら行っていきたい。

個別で聞かせていただいた意見も含め、計画に賛同いただいております、次の段階に進んでいくことを確認する。

○は保護者、●は町・教育委員会

保護者の意見内容
● 統合方針賛成
● 学校統合による単式学級を希望、現在の上殿小がいやとの思いはない。時期的に統合が間に合うか不安
● 子どもは大勢の方が良い。反対はない。戸河内も十分な校舎であり良い
● 反対ではない。戸河内か筒賀かはわからない。
● 夫婦とも統合に賛成
● 適正配置は賛成だが、計画変更内容不十分で時期尚早では
● 統合に賛成。統合先についても特に異論はない。
● 急な話で戸惑っている。
● 統合の話だすのは時期尚早。学校がなくなると地域が衰退する。地域は定住対策に取り組んでいる。その中で統合の話を出すのはどうなのか。
● 子どもにとって良い方向であれば、時代の流れと思う。戸河内小は良い。
● いろいろな問題があり統合は理解できる。 上殿小学校の先生が新学校に誰もいないとなれば不安。
● 戸河内との統合は賛成。基準は児童、現在の同級生は少ない。
● 一刻も早く。友だち環境については多い方が良い。学校はどちらでもよい。不安は登下校（スクールバス対応となるのか）
● 統合については賛成、協力する。
● なくなるのはさみしいが、戸河内は同じ安芸太田町であり、統合には賛成。心配はスクールバスがどうなるのか
● 転出予定
● 戸河内に行きたい。教育委員会案に賛成
● 統合方針賛成。中途でするならすぐに統合が良い
● 転出予定
● 早く統合してほしい。戸河内が良い。
● 統合賛成、戸河内が良い
● 統合は賛成。戸河内か筒賀かはわからない
● 統合は早くした方が良い。人数増えれば友だちも増える
● いずれするのなら早い方が良い。できる限り早く。
● 夫婦とも統合に賛成。スクールバス・児童センター利用はどうなるのか。

「安芸太田町学校適正配置基本方針」の  
一部変更（修正）について

安芸太田町教育委員会

令和3年8月

## はじめに

安芸太田町における小中学校の適正配置については、合併後「安芸太田町学校適正配置推進計画」を策定し、平成 25 年には、小学校 7 校、中学校 3 校となった。

また、学校 I C T 化をはじめ教育環境整備、少子化問題、学校施設の耐震化問題を抱える中、小学校においては、通学に係る子どもたちの負担に考慮するとともに、課題となる小学校の過小規模校化の解決、中学校においても、1 学年の過小規模化を見据え、将来的な展望のある教育環境の整備を目的に平成 25 年に「安芸太田町学校適正配置基本方針」策定し、「第 3 次安芸太田町学校適正配置推進計画」が示され、小学校 3 校の適正配置の考え方を旧町村の枠を離れ殿賀・上殿・筒賀を統合対象学区とすること、中学校については、1 校となっても 1 学年 1 学級という状態の中、2 校体制とし、将来に向けた定住施策のさらなる推進を図り 2 校体制を充実させる方針を示した。

その後、中学校については筒賀中学校と戸河内中学校が統合し計画どおり町内 2 校体制となったが、小学校については上殿・筒賀と統合計画であった殿賀小が加計小学校と統合することとなった。

令和 3 年現在、町内 4 小学校体制であり当初の計画通りには進んでいない。

このたび、安芸太田町学校適正配置基本方針策定後の小学校の改築・改修や学校運営の現状、また定住施策や今後の児童数の減少の見込みに伴い、計画の一部変更（修正）を行うものとする。

## 安芸太田町適正配置計画等のこれまでの経緯

平成16年10月1日	安芸太田町誕生
平成17年4月1日	加計中学校と安野中学校が統合し「加計中学校」に
平成18年度	新たな教育環境の整備案(第1次計画) (小学校3校・中学校2校)【小学校は旧町村単位】
平成19年度	第2次適正配置計画(小学校3校・中学校1校)
平成20年4月1日	寺領小学校・松原小学校が戸河内小学校と統合
平成21年4月1日	猪山小学校が加計小学校と統合
平成25年10月	「安芸太田町学校適正配置基本方針」策定 殿賀・上殿・筒賀小学校を統合対象学区に加える 中学校は2校体制とし、さらなる定住施策の推進を図る
平成26年10月	「安芸太田町学校適正配置基本方針」の一部修正 (戸河内小学校は現在地において校舎は新築、体育館は耐震改修とする)
平成27年3月	殿賀小学校の加計小学校への統合要望出される
平成27年11月	教育委員会会議において殿賀小は加計小を拠点校とすることに変更
平成28年4月1日	修道小学校、津浪小学校、殿賀小学校が加計小学校と統合
平成29年4月1日	筒賀中学校と戸河内中学校が統合し「安芸太田中学校」に

### 1 小学校の現状及び児童数の推移(見込)について

出生数及び就学前児童の現状と推移

町内の出生数については、合併後30人前後で推移していたが、平成30年より20人台となり、令和2年度は15人となっている。

就学前児童							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
上殿小学校区	4	1	3	4	4	8	24
筒賀小学校区	4	4	3	7	6	6	30
戸河内小学校区	1	4	6	5	3	2	21
加計小学校区	6	10	13	14	20	19	82
計	15	19	25	30	33	35	157

### 小学校児童の推移

加計小学校については、100人前後で推移しその後微減し令和8年度は90人台となる見込み。上殿小学校については、20人余りで推移し令和8年度においてもほぼ同じ児童数の見込み。筒賀小学校については、現状50人となっており今後少しずつ減少し、令和8年度は30人台となる見込み。戸河内小学校については現状40人台となっているが、少しずつ減少を続け令和8年度は30人を切る見込みとなっている。

なお、現状の就学前児童数から予測できる6年後の令和9年度の児童数は、加計小学校82人、上殿小学校24人、筒賀小学校30人、戸河内小学校21人となっている。

令和3年度:2021

加計 小学校	学 年	人 数	学級数
	1	17	1
	2	20	1
	3	17	1
	4	16	1
	5	18	1
	6	13	1
	計	101	6

令和8年度:2026

加計 小学校	学 年	人 数	学級数
	1	10	1
	2	13	1
	3	14	1
	4	20	1
	5	19	1
	6	17	1
	計	93	6

令和3年度:2021

上殿 小学校	学 年	人 数	学級数
	1	3	1
	2	3	
	3	2	1
	4	4	
	5	3	1
	6	9	
	計	24	3

令和8年度:2026

上殿 小学校	学 年	人 数	学級数
	1	1	1
	2	3	
	3	4	1
	4	4	
	5	8	1
	6	3	
	計	23	3



令和3年度:2021

筒賀小学校	学年	人数	学級数
	1	9	1
	2	11	1
	3	10	1
	4	7	
	5	7	1
	6	6	
	計	50	4

令和8年度:2026

筒賀小学校	学年	人数	学級数
	1	4	1
	2	3	
	3	7	1
	4	6	
	5	6	1
	6	9	
	計	35	3

令和3年度:2021

戸河内小学校	学年	人数	学級数
	1	9	1
	2	7	1
	3	5	1
	4	6	
	5	9	1
	6	5	
	計	41	4

令和8年度:2026

戸河内小学校	学年	人数	学級数
	1	4	1
	2	6	1
	3	5	1
	4	3	
	5	2	1
	6	9	
	計	29	4

中学校生徒の推移

中学校については、安芸太田中学校、加計中学校とも5年後の令和8年度においては、横ばいとなっている。

しかし、その後減少を続け、推測できる12年後の令和15年度の生徒数については、安芸太田中学校30人、加計中学校29人となっている

安芸太田中学校

加計中学校

令和3年度

学年	人数
1	14
2	14
3	16
計	44

令和8年度

学年	人数
1	21
2	17
3	17
計	55

令和3年度

学年	人数
1	19
2	16
3	17
計	52

令和8年度

学年	人数
1	20
2	17
3	16
計	53

## 2 第3次学校適正配置推進計画の一部変更（修正）について

### 第3次適正配置基本計画推進計画考え方の修正

#### 小学校

第3次適正配置基本計画推進計画における適正配置の考え方について、複式学級の解消を目指し、従来の町村の枠にこだわらない合併後の将来像を見据えた考え方とした。

しかしながら、これまで統合は計画どおりに進んでおらず、少子化が進行する中、現在対象の小学校に通う児童には、教育環境を整えるためにも早急な対応が求められる。

このため、従来の考え方について、つぎのとおり修正する

#### （修正前）

これまでの小学校3校の適正配置の考え方は、複式学級の解消を目指すことを目標として、旧町村に1校という考え方であったが、適切な規模の学校運営のため、従来の町村の枠にこだわることなく、学校間の距離、地域性等を考慮した適正配置計画上の学区再編が必要である。

このことから、新たな考え方として、旧3町村の枠を離れ、殿賀・上殿・筒賀小学校を統合対象学区に加えることとし、適正配置計画を策定する。

#### （修正後）

これまでの小学校3校の適正配置の考え方は、複式学級の解消を目指すことを目標として、旧町村に1校という考え方であったが、適切な規模の学校運営のため、従来の町村の枠にこだわることなく、学校間の距離、地域性等を考慮した適正配置計画上の学区再編が必要である。

このことから、必要な統合について検討を行うものとするが、これまでの小学校運営の経緯、地域の状況、統合施設の現況、通学における利便性、保護者の意見等を総合的に勘案する中において、適切な統合対象学区について定めるものとする。

### 具体的な第3次適正配置実施計画の修正

#### 小学校（修正）

従前の計画においては、殿賀・上殿・筒賀の3小学校を統合対象学区としていたが、殿賀小の統合先が加計小学校となり、またその後の施設の状況、地域性、保護者の意見等を勘案する中において、上殿小学校と戸河内小学校を統合対象学区とし、現戸河内小学校を使用することに修

正する。

また、統合時期については令和4年4月1日を目途とし、準備協議を進めるものとする。

## 2 小学校統合後の児童数・学級構成

令和3年度:2021

令和4年度:2022

令和9年度:2027

上殿小学校 戸河内小学校	学 年	人 数	学 年	人 数	学級数	学 年	人 数	学級数
	1	12	1	10	1	1	5	1
	2	10	2	12	1	2	5	1
	3	7	3	10	1	3	9	1
	4	10	4	7	1	4	9	1
	5	12	5	10	1	5	7	1
	6	14	6	12	1	6	10	1
	計	65	計	61	6	計	45	6

### 3 第3次学校適正配置推進計画後の取り組みについて

出生数減少などにより、計画後の各学校における児童生徒数の推移については厳しいものがある。

小中学校の今後の適正配置についても、将来の定住施策推進、児童生徒数、学校の動向を見据え、つぎの教育環境の整備に向けた取り組みを行うものとする。

#### 小学校

今回修正した適正配置推進計画については、当面現在の3校体制を維持し、それぞれの特色を生かし充実した学校づくりを行う。

ただし、今後の児童数の推移を考慮する中において、加計小及び統合計画の戸河内・上殿小については5年後も単式学級の見込みだが、筒賀小については複式学級の解消ができない見込み。

今後も将来的な児童数の把握を行うとともに、教育環境の充実に向けた体制について引き続き検討を続ける。

#### 中学校

今後の生徒数については、5年後までは横ばいでその後少しずつ減少となる。

2校体制をさらに充実できる学校づくりを行うことと同様に、将来的な学校運営に適した学校規模について引き続き検討を続ける。

## おわりに

安芸太田町学校適正配置基本方針及び第3次学校適正配置推進計画を策定し、学校の統廃合をはじめとした適正配置について、必ずしも予定どおりに進んではいない。

今回の計画変更(修正)は、そのことを率直に反省し早急に対応するため、統合対象校を変更し、統合時期についても令和4年4月1日を目途とした。

町はこれまで過疎・高齢化に伴う人口減少と常に向き合い、減少をおさえる取り組みを行う反面、児童生徒の減少のため多くの学校統廃合を余儀なくされた。

計画の小学校3校、中学校2校が完了したのちについても、人口減少は続く見込みの中、将来的には新たな統合を含む計画策定を迫られることも予測される。

町は現在「第二次安芸太田町長期総合計画」後期基本計画の期間であり、定住施策をはじめとした人口維持のため様々な方策を実施している。

町は今後においても、常に現状を把握し計画実施後の学校の状況、今後の見通しを明らかにするとともに、さらなる計画策定が必要か検討を続ける。

将来の安芸太田町の子どもたちが、適正な施設において学びを進めていけるよう学校関係者、保護者、行政と地域の方々全てが、いま置かれている状況を十分に理解し、お互いに力を合わせて、教育環境の充実に向けて取り組んでいく。